

第 32 号 (令和 4 年 3 月 発刊)

目 次

会長あいさつ…………… 1

日本一小さな町の小さなクラブ…………… 2

日本一を目指して…………… 3

研修会の報告…………… 4

峡中支部活動報告…………… 5

日本スポーツ協会公認  
スポーツ指導者表彰 …… 6～7

事業報告・事業計画…………… 8

山梨県スポーツ指導者協議会

会 報



令和3年度山梨県スポーツ指導者協議会 特別研修会 (R 3.11.20)

山梨県スポーツ指導者協議会  
ホームページリニューアルについて



会 長 市 村 一 司

(体操コーチ4)

令和三年度も山梨県スポーツ指導者協議会の活動は新型コロナウイルスの影響で大きく縮小せざるを得なかった。総会と第一回研修会が延期・中止となり、さらに第三回研修会及び表彰式が中止になった。特別研修会は対面とオンラインの併用で開催した。全国連絡会は延期をしての開催、全国研修会は表彰式のみ中止となり対面とオンラインの併用開催となった。

この感染症対策下でどのようなスポーツ指導が実施できるか、指導者の皆様の工夫が必要とされる一年であった。各競技団体がガイドラインを作成して支え、かろうじて無観客や人数制限による大会を実施したが、練習は大きな制限のもとに苦しい状況となった。このような状況の中、本協議会ではホームページをリニューアルして会員相互の情報やイベントを会員の皆様にお知らせできるようにした。見やすい、使いやすい、双方向通信を目指して検討している。他のスポーツ関係団体とも連携していく予定である。

この機会に本協議会ホームページのQRコードを載せるので活用していただきたい。

この機会に本協議会ホームページのQRコードを載せるので活用していただきたい。



# 日本一小さな町の小さなクラブ



早川陸上クラブ

望月 弘一

(早川中学校部活動外部指導者)

早川陸上クラブは私が早川の山間地の子供達に、県の大きな大会に挑戦させ、自信と積極性を育てたいという願いを抱き、昭和六十三年に活動を始めた。しかしながら年々少子化が加速する全国屈指の過疎の町早川で、クラブを継続する不安は毎年つきまとい続いた。

まさか三十五年以上続くとは考えもよらぬ事だった。現在は小学生十三名、中学生五名が在籍し、週二回を基本に年間通して練習を重ねている。小学生は遊び的な要素を取り入れながら総合的な体力づくりを重点を、中学生においては最終学年で最高のパフォーマンスを出せるような指導を行っている。

早川中学校は部活動が陸上競技部とソフトテニス部のみであり、全天候型六十メートルの練習レーン、公認競技場仕様の投擲サークル、走り幅跳びピット、夜間照明等グラウンド全体が陸上部専用で何時でも使用できる。

この環境が選手躍進の原動力となっていることは言うまでもない。今年度の全国高校総体には、クラブOBの小森直史(身延高校)が砲丸投げ、深澤瑞樹(東海大翔洋高校)が走り幅跳びと共に、ランキング

一位で臨んだ。小森は山梨県陸上日本人男子初めての優勝を自己新記録で飾ることが出来た。深澤は八メートルの大ジャンプも期待されたが残念ながら自己記録に及ばず準優勝の結果であった。山梨県中学記録には小森の砲丸投げ、深澤の走り幅跳びのほかに男子走り高跳びと三種競技の深澤光司、男子円盤投げの村田雅弥、女子円盤投げに杉山愛海と早川中学校出身者が名を連ねている。

このような実績の中で教えてあげているという心境から、いつしか子供達に多くのことを学ばせてもらっている心境に変わって

きた。それぞれの目的に向かつて走り、投げる子供達、夢をあきらめないで頑張る人の姿は美しく、特にその目は輝いている。そして沢山の感動と勇気を子供達から貰い、その姿を見られることは本当に幸せだと実感している。



# 日本一を目指して

駿台甲府高等学校  
ハンドボール部

監督

八 田 政 史

(ハンドボールコーチ)



「全国制覇」―毎年変わる  
ことなく抱き続けている目  
標である。山梨県のハンド

ボール競技は各カテゴリー  
において長らく日本一から  
遠ざかっている。過去には  
実業団チームのシャトレー

ゼが中心となり山梨県のハ  
ンドボール文化を築いてく  
れた。しかし、シャトレー  
ゼの日本リーグ撤退や少

子化など、様々な要因から  
「山梨県」が少しずつハンド  
ボールの中心から遠くなっ  
てしまった。サッカー、野球

を筆頭に多種目と比べると  
寂しい思いを抱いている。  
「もう一度、山梨県のハンド

ボールを盛り上げたい」と

私はこの思いを強く持ち続  
けている。

生徒たちは一生に一度し  
かない高校生活をハンド  
ボールに懸けて、本校を選  
んでくれている。「日本一に

なるためには日本で一  
番の活動をしなければなら  
ない」のコンセプトを大事に  
ハードワークの毎日である。

中学校の時には全国大会へ  
の出場はなく、関東大会に  
山梨県の代表として出場す  
るが、全国切符は遠い存在

である。そのような生徒た  
ちでも絶対に目標を達成  
するために、日本一に辿り  
着くために、確かな実力と

自信を得なければならぬ。

毎日の一分一秒が勝負であ  
る。

平成三〇年三月、初めて  
全国選抜大会での準優勝と  
いう成績を収めることがで  
きた。出場選手全てが山梨

県出身であり、中には中学  
校までバスケットボール部  
で高校からハンドボール

を始めた生徒もいた。その  
年のインターハイでは第三  
位と春に続くメダル獲得と  
なり、山梨のハンドボール

にもう一度光が当たり始め  
る一歩を踏み出してくれた。  
本校が大切にしている「主  
体性」と「コミュニケーション

能力」そして「Chal  
lenging Spirit」を念頭に、充実した三  
年間を過ごしてくれた。必  
死の努力が実るその喜びは

何物にも代えがたいもので  
ある。過ぎた時間、流した  
汗、幾つもの困難を乗り越  
えて最後に大きく飛躍して

大人となり、巣立っていく

姿を見ると、私が一番幸せ  
な時間を過ごさせてもらっ  
ていると感じる。

先輩の姿を見た中学生た  
ちが高い目標を抱き入学  
し、文化を繋いでくれてい  
る。令和三年福井インター

ハイでも第三位と先輩に続  
いてくれた。少しずつでは  
あるが、着実に山梨県のハ  
ンドボールが前を向いて進  
み始めていると思

う。より一層、この  
歩みを前進させる  
ためにも「日本一」  
を山梨県ハンド  
ボール関係者と共  
有したい。

県外からも少し  
ずつ、山梨県のハ  
ンドボール・駿台  
甲府を選んでく  
れる中学生が増え  
てきた。「日本一」

を目指して全力で  
取り組むことで、  
「ヒトがヒトを呼

び、環境を発展させ、生活を

豊かにしてくれる」と信じ  
ている。山梨県では幾つも  
の競技指導者の方々が「日

本一」を達成されている。私  
もまだまだ勉強しなければ  
ならないことばかりである。

学びをストップすることな  
く自分をアップデートし、  
諸先輩方に続いていけるよ  
う精進していきたい。



# 研修会の報告

## 「令和三年度 山梨県スポーツ指導者 研修会に参加して」

東山梨支部

武井正英

(ジュニアスポーツ指導員)

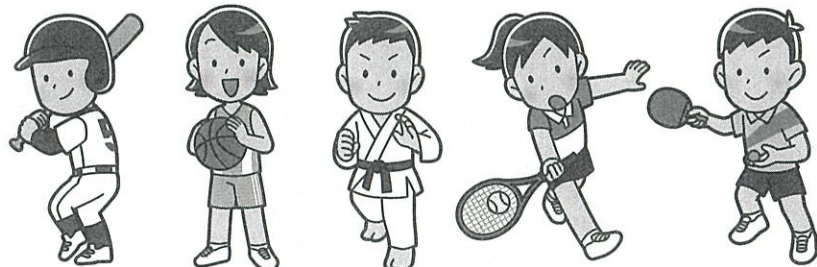


お二人の講師、石川聡先生による「スポーツにおけるコミュニケーションの大切さ」ハラスメント防止に向けて、又、中村和彦先生による「健やかな日々を送るためにー遊び・運動・スポーツの大切さ」のテーマに沿って、三時間

の研修でした。

我々は、公認スポーツ指導者の勉強をしているので、何回となくこの様なテーマについても研修した事が有ります。しかし、今回の東京オリンピック・パラリンピックは暴力・ハラスメントの根絶「すてきな日本のスポーツ」に変わってゆく絶好なタイミングのはずでした。が、コロナの話題により、その声が日本中に大きくとどろく事なく終了してしまつたように思います。まだ遅くはないと思います。「楽しい運動」から子供達に経験してもらい、将来につなげられるように有りたいと、改めて考えさせられた研修会でした。

講師のお二人の先生、大変ありがとうございました。



## 「特別研修会に 参加して」

羽田和矢

(陸上競技コーチ)



講義では、マウスガードを装着することによって、ケガ防止だけでなく、しっかりと噛み締める瞬間に脳から筋力アップの指令が出されることや、顎の安定が、首や背骨のバランス感覚をアップさせること、さらに安心感によるリラックスマウスガードなど、多くの効果がマウスガードによって期待できることを初めて学ぶことができた。一部の競技では装着が義務付けられているものもあるようだが、競技の枠を超えて、マウスガードのさらなる普及促進が望まれる。

世界のホームラン王である王選手は、打撃のインパクトの瞬間に奥歯を強く噛み締めるので、奥歯がボロボロになつてしまったというエピソードを子どものころに聞いたことがある。強く印象に残っていたせいも、マウスガードの効果については、パワー系やコンタクト系の競技での歯のケガや擦り減りの防止をするためぐらいの認識でしかなかった。

今回の若尾徳男先生の



# 峡中支部 活動報告

峡中支部  
支部長 天野 俊之

峡中支部は甲斐市・南アルプス市・中央市・昭和町で構成し、山梨県スポーツ指導者協議会では資格取得者が最も多い支部となっております。

峡中支部は、年間に二度の研修会を開催、一回目は講師を招き支部独自の研修会として開催しております。二回目は運営等協力者等の参加を頂き各競技やその他事業の開催等を題材に研修会を開催しております。

峡中支部登録指導者の事業に対して多くの協力を頂き開催また、過去の事業（研修会等）では多くの

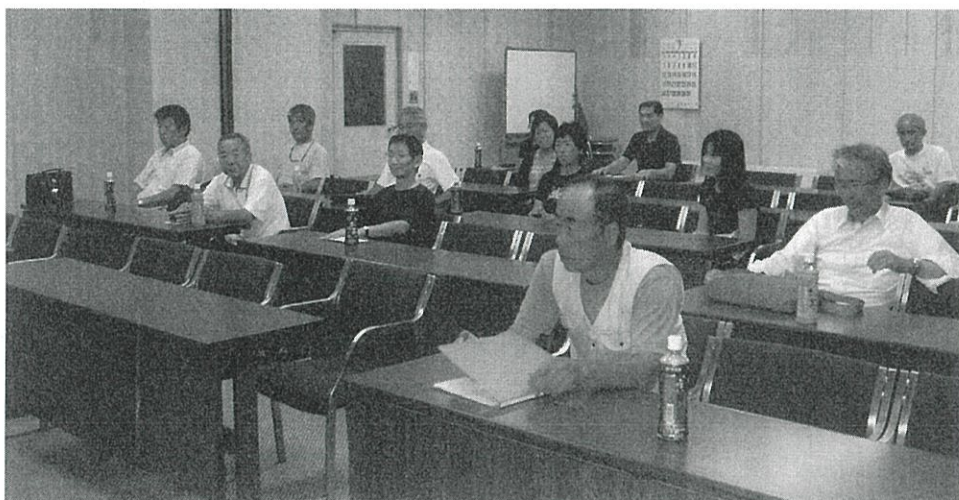
参加者の中で開催され、成果も十分上がったと思います。

今後とも支部会員との連携を図り、スポーツ情報の伝達や指導者としての資質の向上を目指す事業を開催してまいります。

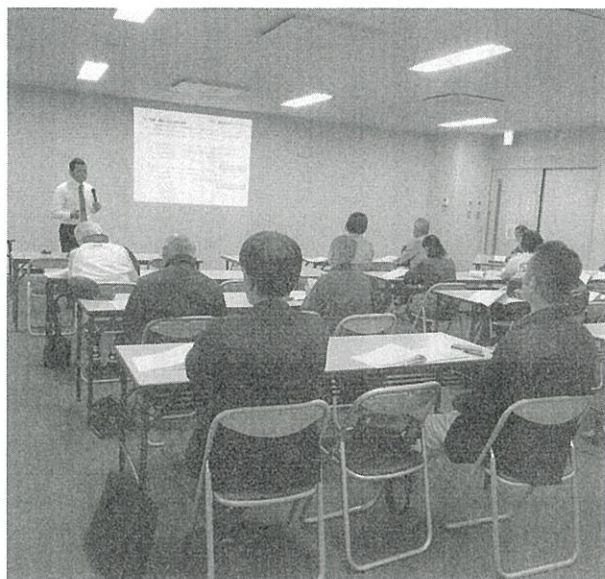
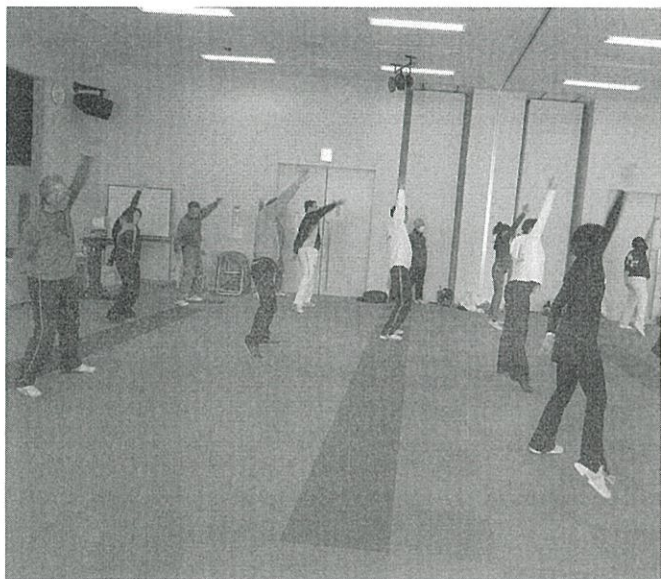
ただ、令和二年度と令和三年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大で事業が開催できず支部活動が停止状態です。

このような状況の中で次年度は会員の皆様との連携で多くの成果ある事業を開催してまいりたいと思います。

峡中支部では、山梨県ス



ポーツ指導者協議会や峡中支部で運営等ご協力頂ける方を多く募集し、なご一層の事業拡大を考えています。公認スポーツ指導者の皆様のご協力を今後ともよろしくお願いいたします。



令和3年度

「山梨県スポーツ指導者協議会表彰」

功労表彰



中村 実 (クラブマネジャー)



餌取 一成 (剣道コーチ・  
スポーツプログラマー)

令和3年度

「公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者等表彰」

永年表彰



餌取 一成 (剣道コーチ・  
スポーツプログラマー)

山梨県スポーツ指導者協議会

表彰を受賞して

東山梨支部 中村 実  
(クラブマネジャー)

この度、令和三年度公認スポーツ指導者表彰受賞させて頂き、協議会関係者の皆様方には、深く感謝申し上げます。

私は、「楽しく健康的に体を動かしたい。」という思いから、総合型地域スポーツクラブの運営を目的として、クラブマネジャー資格を平成二十一年に取得した。同年四月に「子供たちの体力向上をスポーツ・野外・文化活動を通して、安心安全な地域づくりする」を理念として、「甲州スポーツ倶楽部」を設立し、クラブマネジャーとして運営を始めた。また地域と関わり、小学校のレクリエーション活動や授業、児童館・公民館活動支援などを行ってきた。一方、競技スポーツ指導として、自身も

楽しみながら、銃剣道・居合道から始まり、スポーツチャンバラ・ティールボール・タグラグビー・スポーツ鬼ごっこ・子ども身体発達指導士・中高年期運動指導士として、多世代に多岐に渡る普及指導を行っている。しかし、コロナ禍で令和二年度・三年度は活動範囲が狭まっている。

総合型クラブ運営は、まだまだ多くの課題を抱えている。今後は、中学校部活動の外部指導者を視野に入れながら、クラブマネジャーとして、あらゆる方面（行政教育委員会・市スポーツ協会・社会スポーツ・スポ少）等と理解連携を取り、スポーツ指導者の更なる活動場所を広げて行きたい。

日本スポーツ協会公認
スポーツ指導者表彰を受賞して

師弟同行

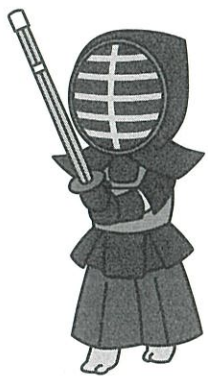
南都留支部 餌取一成

(剣道コーチ1・スポーツプログラマー)

このたび、令和三年度日本ス
ポーツ協会公認スポーツ指導者永
年表彰を受賞させて戴き、大変身
に余る光栄であるとともに、ご推
薦いただいた山梨県スポーツ指導
者協議会並びに、南都留支部の皆
様方のお陰と心より感謝し、厚く
御礼を申し上げます。

私は小学校五年生より剣道を始
め、多くの先生方より貴重な指導
を戴きました。自分を大きく成長
させていただき、その間、数多く
のアドバイスや励ましを貰い、

剣道を続ける原動力となりました。
それだけに私を含めて指導者の見
識が他の指導者や教えられる側に
大きな影響力を持つと思います。
常に新たな情報や今までの指導の
振り返り等が大切だといつも自分



が心掛けているところです。
また、他スポーツとの連携や意
見交換なども新たな気づきにつな
がります。日頃よりアンテナを高
く掲げ、視野を広く持つことが必
要であると確信しています。

私自身、この機会に一層精進し、
スポーツに関わる全ての人達が楽
しく続けられる環境づくりに貢献
し、山梨県並びに地域スポーツ発
展のために一段と力強く尽力した
いと考えます。今回の受賞、誠に
ありがとうございました。

小さな掛金、大きな補償

スポーツ安全保険

加入区分・掛金・補償額

●団体活動を行う4名以上の方でご加入ください。

Table with columns for加入対象者 (加入対象者), 加入区分 (加入区分), 補償対象となる団体活動 (補償対象となる団体活動), 年間掛金 (年間掛金), 対象範囲 (対象範囲), 傷害保険金額 (傷害保険金額), 賠償責任保険支払限度額 (賠償責任保険支払限度額), 突然死葬祭費用保険支払限度額 (突然死葬祭費用保険支払限度額).

△全ての加入区分におけるご留意... 〇この保険は同一団体で1口しか加入できません...

年間掛金は、印刷添付資料(10円)が適用されます。

令和3年度 山梨県スポーツ指導者協議会 事業報告

年	月日(曜日)	事業名	会場等
令和3年	4月10日(土)	<協力事業> 山梨県スポーツ少年団フェスティバル	小瀬武道館
	4月26日(月)	令和2年度会計監査	小瀬管理事務所打合室
	5月21日(金)	第1回執行部会	小瀬武道館第2会議室
	5月26日(水)	第1回理事会・専門部会	小瀬武道館第1会議室
	7月16日(金)	第2回執行部会	小瀬武道館第2会議室
	7月21日(水)	第2回理事会・専門部会	小瀬武道館第1会議室
	10月23日(土)	第2回山梨県スポーツ指導者研修会	夢ワーク山梨
	11月12日(金)	第3回執行部会	小瀬武道館第2会議室
	11月17日(水)	第3回理事会・専門部会	小瀬武道館第1会議室
	11月20日(土)	特別研修会	小瀬武道館第1会議室 ※対面形式及びWEB形式
	11月28日(日)	公認スポーツ指導者全国研修会	※オンラインでの開催
	8月26日(土) ※中止	令和3年度山梨県スポーツ指導者協議会総会 及び第1回山梨県スポーツ指導者研修会	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
	※中止	令和3年度公認スポーツ指導者等表彰式	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
令和4年	2月5日(日)	令和3年度全国スポーツ指導者協議会幹事会	※オンラインでの開催
	3月9日(水)	第4回執行部会	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面決議
	3月23日(水)	第4回理事会	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面決議
	3月31日(水)	会報第32号発刊	
	1月23日(土) ※中止	第3回山梨県スポーツ指導者研修会	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

令和4年度 山梨県スポーツ指導者協議会 事業計画

年	月日(曜日)	事業名	会場等
令和4年	4月9日(土)	<協力事業> 山梨県スポーツ少年団フェスティバル	小瀬武道館
	5月20日(金)	第1回執行部会	小瀬武道館第2会議室
	5月25日(水)	第1回理事会・専門部会	小瀬武道館第1会議室
	6月11日(土)	令和4年度山梨県スポーツ指導者協議会総会 及び第1回山梨県スポーツ指導者研修会	富士川町ますほ文化ホール
	7月15日(金)	第2回執行部会	小瀬武道館第2会議室
	7月20日(水)	第2回理事会・専門部会	小瀬武道館第1会議室
	9月	第2回山梨県スポーツ指導者研修会	南都留・北都留地区
	11月11日(金)	第3回執行部会	小瀬武道館第2会議室
	11月16日(水)	第3回理事会・専門部会	小瀬武道館第1会議室
	12月頃	令和4年度全国スポーツ指導者連絡協議会 幹事会・全体会	未定
	12月頃 (未定)	令和4年度公認スポーツ指導者等 表彰式・全国研修会 特別研修会	未定
令和5年	1月	第3回山梨県スポーツ指導者研修会	オンラインでの開催予定
	2月17日(水)	第4回執行部会	小瀬体育館研修室
	2月22日(水)	第4回理事会	小瀬体育館研修室
	3月下旬	会報第33号発刊	

発行元  
山梨県スポーツ指導者協議会  
(事務局)

〒400-0836 山梨県甲府市小瀬町840  
公益財団法人 山梨県スポーツ協会内  
TEL 055-243-8588 / FAX 055-243-8599

編集…広報普及部

務局へ情報を提供し  
て下さい。  
務者に関係する情報  
が  
あり  
ましたら、  
事  
務  
局  
へ  
情  
報  
を  
提  
供  
し  
て  
く  
だ  
さ  
い。  
会報は協議会の活  
動等を会員の皆様  
にお伝えするため  
の  
お  
伝  
え  
す  
る  
た  
め  
の  
も  
の  
で  
す。  
ス  
ポ  
ー  
ツ  
指  
導  
者  
に  
関  
係  
す  
る  
情  
報  
が  
あ  
り  
ま  
し  
た  
ら  
、  
事  
務  
局  
へ  
情  
報  
を  
提  
供  
し  
て  
く  
だ  
さ  
い。

